(農)サンファーム法養寺だより

農事組合法人サンファーム法養寺
平成27年8月1日

イチジクが収穫期を迎えました

ハウス栽培しているイチジクが収穫期を迎えました
今年は例年より４～５日ほど早くなっています。イチジクは収穫が始まると１日も休むことはできません。毎日収獲してせせらぎ直売所とフタバヤに納入することになります。
初取りのものをせせらぎ直売所に並べましたが、４００ｇ１パックを５００円としています。これから１１月中旬まで収穫が続くことになりますが、幸いハウス栽培なので雨天でも収穫できるし、実が風雨にさらされていないのできれいな状態で穫ることができます。
やはり最初にできるイチジクは甘くてとてもおいしいし、実が大きいので８月いっぱいまでがおすすめです。ぜひ法養寺のイチジクをお買い求めください。なお、ジャム加工にされる方は出荷できないものを格安でお分けすることができますのでお申し出ください

大豆が播き直しの事態に

6月末に大豆を播種しましたが、7月に入って何回もの豪雨に見舞われ極端な発芽不良となってしまいました。台風12号が通過して「梅雨明け」を確認してから播き直しすることとしました。昨年は播種作業が天候に恵まれ8月の降雨も十分にあって大豊作となったことが油断につながったのでしょう。
炎天下の播種作業は大変つらいものですがやむを得ません。栽培している大豆は全て「黒豆」で、白豆のほぼ倍額で引き取りされるのでサンファームにとっては重要作物なのです。播種が遅れた分だけ収量は減るだろうと心配ですが、とにかく9割程度をまき直しました。秋には黒豆の枝豆をお裾分けできるだろうと思っていますので期待していてください。

水稲防除は8月7日（金）早朝

今夏の水稲防除は8月7日に行われる予定です
使用薬剤は「スタークル液剤10」（殺虫剤）で、ｶﾒﾑｼ、ｳﾝｶ類の防除が目的です。
なお、水稲防除はこの1回だけです。
当日は薬剤がかからないよう窓を閉めたり洗濯物取り込み等の対策くださいますようお願いします。

つぶやき

とにかく熱い！。かろうじて午前中は作業ができてもとても午後は外には出られない。つい先日ﾄﾏﾄの収穫は終わったが、代わってｲﾁｼﾞｸがとれはじめた。これから100日は休み無く収穫・出荷が続く。途方もないほど長い100日。
大豆の播種は終わったが、田んぼの畦草刈り、やがて水稲の収穫。9月末から抑制ﾄﾏﾄの収穫、小麦の播種、大豆の収穫など年末を迎えるまではほとんど休みなし。
「それでなんか文句あるのか？」と言われれば「いいえ、結構毎日楽しいですわ」と答えるのだろう。サンファームには本当に多くの人がやって来る。近隣の集落営農の仲間、園芸関係者、取引先、技術指導者、視察者等々、格納庫にいると1日10人以上の人がやってくるだろう。
人と人のつながりが大切なのだ。だから休みが無くても給料がなくても続けられるのか。

マンゴー栽培を視察しました

７月１２日、甲良集落営農連合協同組合では旧安土町内野で行われているマンゴー栽培を視察しました。熱帯産の果物が滋賀県でも栽培できるのだと言うことを目の当たりにして大変驚くとともに、こんなことができたらいいなと参加者は大きな感心を示していました。
甲良町にはこれといった特産品がありませんが、何か「甲良にしかないもの」を作りたいと甲良連合ではこのような機会を作っています。マンゴーは１個で2，000円～3，000円もするとのことで生産者としては大きな魅力ですが施設費や暖房費は多額が見込まれ決して容易ではありません。ですが若い人が農業に魅力を感じてもらうためにも新たな挑戦が必要です。